

男女平等ランキングについて

「ジェンダー・ギャップ指数」とは、世界各国の女性の地位を経済、教育、政治、健康の4分野のデータを総合点で表し、順位付けしたものです。

日本は「経済」や「教育」、「健康」で順位を上げ、「政治」の順位は下がりましたが、これは、閣僚の男女比などが、基準値よりも低下したことによると考えられます。



その原因として、女性の就職率や管理職比率の低さ等様々な要因が考えられ、ワークライフバランスの実現や女性の就職支援など様々な対策も検討・実施されています。

国名	今年の順位	前年の順位	GGI値 (ジェンダーギャップ指数)	各分野別順位の内訳			
				経済活動への参加と機会	初等教育等への就学	健康と生存率	政治への参加
アイスランド	1	→	0.878	14	57	114	1
ノルウェー	2	↑	0.830	8	38	80	4
フィンランド	3	↓	0.823	16	1	46	5
アメリカ	49	↓	0.718	19	1	82	96
中国	100	↓	0.674	86	102	144	77
インド	103	↓	0.669	139	112	141	15
日本	114	↓	0.657	114	74	1	123
イエメン	144	→	0.516	141	141	119	144

世界経済フォーラム” The Global Gap Report2017”より

そんななか、平成28年9月に、働き方改革実現推進室が設置され、女性の活躍推進や育児支援、仕事と育児の両立支援の他、フレックスタイムやテレワーク※など女性が十分に能力を発揮して、活躍できる環境の整備が進められています。※テレワークとは…自宅や勤務先以外の場所で、情報伝達技術等を活用した、場所や時間にとらわれない、柔軟な働き方のこと

女性が自らの能力を発揮し、社会で活躍できるよう、男女共同参画意識の高揚を図り、さらなる就労支援や情報提供の充実が望まれます。

性別に関係なく、女性も男性も活躍でき、すべての人が尊重され、誰もがいきいきと自分らしく暮らせる、そんな社会をみんなで創っていくことが大切ではないでしょうか。

